

商友

29号 ● 2022.3

【発行】松江商工会議所青年部

事務局

松江市母衣町 55 - 4

TEL(0852)32-0507

FAX(0852)55-2111

<https://www.m-yeg.com>



令和3年度会長 大内 智弘

まずもって、みなさん令和三年度のYEG活動、おつかれさまでした。令和三年度の活動が、みなさんにとって意義のあるものになったのであれば、会長冥利に尽きる思いです。やはりより良い活動をするためには、より良い会であるためには、何より自分自身が楽しく活動できることが第一だと思いません。私自身はこの一年、自身の成長にも繋がった、とても楽しい一年になりました。

会長を務めるにあたり、活動方針、委員会構成、事業計画案などは前年度の十月

月には固めて動き出す必要があります。令和二年度はコロナウイルス感染症の拡大の影響で、松江YEGでは非常事態宣言を出し、活動を一時中止しており、十月は活動を再開したばかりの時でした。令和二年では全くの予想外であった新型コロナウイルスの感染拡大ですが、令和三年度は最初からコロナ禍の中で活動が前提となります。そのような状況で令和三年度のYEG活動をどうすべきか、大いに悩んだことを記憶しています。今までどおり集まって総会や例会が出来るのか、卒業祝賀会や忘年会ができるのか、なにより松江YEGで最も大きな事業である水郷祭が出来るのか、あの時点では、何も確信が持てず、正直に言うとき大きな不安を抱えていました。ただ、その中でも一つだけ、これだけはやり返さないと決めていたことがありません。それが、令和三年度は社会情勢がどうなるかと一年間、活動を継続しよう、ということでした。

今まで当たり前前にできていたことが出来なくなつた状況で、何のために事業をするのか目的をしっかりと定め、それを達成するために、何をすべきか、どうしたらできるか、前例や慣習に囚われず変えるべきところは変えていきつつも、今まで以上に意義のある事業をやっていくこと、令和三年度の会長スローガンは「原点と変化へ変えないものと変えるもの」と定め、総務広報委員会、地域・観光委員会、経営者開発委員会、提言委員会、会員交流委員会の五委員会での活動をしてきました。

四月総会は現地参加とZoomによるオンライン参加のハイブリッド形式で実施、その後の卒業証書授与式・祝賀会は懇親会こそできなかったのですが、卒業生の方に喜んで頂ける会にすることが出来ました。

七月にはふるさと森林公園で納涼例会を実施しました。例年は水郷祭の決起集会として、近隣諸団体を招いて盛大に行う例会ですが、三年度は会員同士の交流をはかるために松江YEGのみでバーベキュー懇親会を実施しました。どのようなしたら出来るか、感染対策と工夫を凝らし、実に令和元年度二月例会以来の会となりしました。

八月は水郷祭の代替事業である松江GENKI花火に地域・観光委員会を中心に携わる予定でしたが、残念ながらコ

ロナの影響で中止となってしまいました。そのため九月に水郷祭例会として、これからの水郷祭のあり方について、会員全員で考える事業を行いました。

十月例会では、経営者開発委員会が松江市職員と協働し一年間を通じて取り組んでいる「ふるさと納税魅力向上プロジェクト」を通じて得たことを会員で共有しました。

そして、十二月総会では、令和四年会の会長および理事が承認され、また新しい年度に向けての準備がスタートをしました。

この原稿を書いているのは一月末であるため、まだ二月例会、地域支援事業、提言活動や通年勉強会、情報発信事業などの通年事業が残っていますが、どの事業も大成功で終わっていることでしょう。

令和三年度は水郷祭・松江GENKI花火、水燈路も中止となり、昨年度と変わらず様々な制約のある中での活動でしたが、各委員会、様々な工夫を凝らした、各委員会、様々な工夫を凝らした、出来る形を模索しながら、本当に意義のある事業を実施していくことができたのではないのでしょうか。この経験は必ず次年度以降にもつながっていくものだと信じています。

最後に、一年間ともに走ってくれた五人の副会長、長岡直前会長、松尾専務理事、事務局の竹谷君には本当にお世話になりました。そして松江YEGの全てのメンバーに感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



令和3年度専務理事 松尾 整

令 和三年度専務理事を務めさせて頂きました松尾と申します。

当時、大内会長が、総務委員会副会長、私が委員長という立場。「もし、会長をやることになったら、専務理事よろしくね」と冗談めいた投げかけに「その時は全力でやりますよ」なんて、私もまた適当な返事をしておりました。

実際には、お話を頂いた時、平静を装いながら、自分に務まるのか、内心、かなり不安でしたが。まだ熱心でなかった私を委員長に抜擢し、表舞台？にお導き頂いた恩もあり、今度は私がお手伝いできればと、受けさせて頂きました。

その後、何度も話し合い、事業運営は、できるだけ対面で、できる方法を考えて進めていこうと基本方針を決定しました。

理事会では、体調管理シートを導入、大会議室へ場所を変え、対面参加が難しい理事でも議論に参加できるよう、オンライン併用での開催へと変更しました。委員長、副委員長には、毎月、機材の設営・

片付けと、かなりの負担をおかけしましたが、おかげさまで、一年間乗り切ることができました。お詫びとともに感謝申し上げます。

各事業としては、抗原検査・感染対策徹底の上で、コロナ禍初の飲食を伴う納涼例会（BQ）を開催した会員交流委員会。オンライン併用で準備の手間も増す中、見事に総会運営をした総務広報委員会。島大生とのコラボ、市職員との風会議を新たに実現した提言委員会。上定市長にもご参加頂き、例会の新しい形を示した経営者開発委員会。水郷祭例会では、次年度以降の水郷祭の新しい形を模索した地域・観光委員会。

コロナ前より、格段に難しくなった事業運営ですが、会長スローガン【原点と変化】変えないものと変えるもの【】にあるように、各委員会が変化を遂げながら、繋がりを広げる活動をして頂きました。委員長、副委員長、委員の皆様、一年間、本当にお疲れ様でした。

また、アドバイスを頂きました直前会長・副会長、監事の皆様、一生懸命サポートしてくれた事務局 竹谷さん、本当にありがとうございました。

そして、大内会長。松尾は少しでも期待に応えられたでしょうか。至らない点・ご迷惑をおかけした事も多々あったかと思いますが、大役を与えて頂き、貴重な経験をさせて頂けたこと、心より感謝申し上げます。皆様、一年間、本当にありがとうございました。

出向報告

日本YEG



令和3年度 日本YEG 専門委員 堰 大輔

昨年に続き、令和3年度も日本YEGへ出向させていただきました。出向先は「みんなの政策提言委員会」で、運営幹事として委員会運営全般について担当させて頂いていただきました。

二年連続の出向を希望した理由は、継続して出向することでしか分からないことがあると実感したことです。また、工夫することで松江YEGと並行しての活動も問題なくできることが分かったということも大きいです。

令和3年度みんなの政策提言委員会の活動は、三つの小委員会を設けて進めていきました。①政策提言活動②郷創塾③風会議です。政策提言活動は六月には第一案を作ったうえで、日本YEG事務局と頻繁にオンライン協議を行って作成をしてきました。一月現在、まだ提出前ですが、過去最高との言葉をいただいています。郷創塾は十一月の全国会長研修

会にて現地開催ができ、ディスカッションのコーディネーター役として登壇させて頂いたという貴重な経験も出来ました。松江から現地参加してくれた大内会長たち共に過ごせたことも大きな財産です。風会議はオンライン開催となりましたが、過去最高の参加者となりました。事業の性質上オンラインが向いていたのか、国家公務員・YEG会員双方から高い評価を頂きました。また、各事業に關連して経済産業省・中小企業庁・環境省の方々と合計八回の意見交換会を実施してきました。ここで得た知見はYEG活動の枠を超えて活かせるものだと思います。

僕たちは縁あつて松江YEGに入会した仲間です。YEGには県連・ブロック・日本と広く大きな繋がりがあります。今後も卒業まで、縁をいただいた有限の間を最大限活かしていきたいと思っております。そして、一人でも多くの仲間と共に広い視野で、松江の未来を創る礎の一つになりたいと願っています。

結びとなりますが、日々の活動を支援応援してくれた皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました！

出向報告

中国ブロック 商工会議所青年部連合会



令和3年度 中国ブロック交流委員
小藤 宏昌

令 和三年度は単会の活動とあわせて、中国ブロック交流委員として出向させていただきました。今年度の中国ブロック大会は岡山県井原市で井原 YEG が主管となって開催されました。準備段階からオンライン会議という形ではありましたが携わることが出来、とても貴重な経験をさせていただきました。

令和二年度に予定されていた倉吉大会が新型コロナウイルスの影響で令和二年十月から令和三年五月に延期開催される異例の事態もあり、令和三年度いばら大会をどのようにしていくか、井原 YEG はもちろん岡山県連、中国ブロック全体でもあらゆる事態を想定して準備しておられました。一月の第一回委員会に始まり十月まで四回の委員会がありました。が、いずれの回もオンライン、もしくはは現地とオンラインの併用開催で行われ、今回のいばら大会は現地とオンラインで実施可能なビジネスマッチングと物産展を開催する方向で協議が続ききました。

「第三十九回中国ブロック大会はつげーええで いばら大会」が令和三年十月十六日（土）開催されました。場所は中世夢が原、感染リスクを考え屋外での開催で、参加者は各単会二名までと人数制限をし、現地とオンラインのハイブリッドで行われました。コロナ感染対策もしっかりされ、また天候にも恵まれ無事に開催されました。初めに記念式典が行われ、中国ブロック連合会乗藤会長の挨拶に始まり日本 YEG の吉川会長、日本商工会議所の三村会頭、細羽大会会長の挨拶があり、祝辞は岡山県知事 伊原木隆太様、井原市長の大吉勲様、衆議院議員の加藤勝信様よりいただきました。初めての試みでしたが、素晴らしい式典だったと思います。分科会もオンライン配信、中継形式やユーチューブを使って、現地でもオンラインでも参加できるような工夫がされていました。このような状況下でもしっかりと地元の魅力発信がされており、とても内容のある大会で大成功だったと思います。

次回の令和四年度の中国ブロック大会は広島県廿日市市で開催される予定です。コロナ禍であっても大会が成功できたという実績を引き継いで、廿日市市でのブロック大会も素晴らしいものになることを祈っております。



総務広報委員会

委員長 富田 博之



令和三年度総務広報委員長を務めさせていただきま
した富田博之です。

委員長の打診を受けたときは前年がコロナウイルス
の影響で事業所的に動きが少ない年でしたので、「やっ
てみよう!」と意気込んでいましたが、「四月定時総
会」【情報発信事業】【十二月定時総会】【商友作成】
【毎月のしよほう】【理事会通信】【Web会員手帳】と
総務広報委員会は一年通して事業が盛りだくさんでし
た。事業が終わるとまた次の事業。迷い・悩み・不安
を一年間抱えていました。

そんな中、副委員長を始め委員会のメンバーや色々
な方に支えていただき何とかやってこれました。本当
にありがとうございました。

原稿を書いている今現在まだ事業が残っております
ので残りの事業を無事に終えて新たな年を迎えたいと
思います。

一年間ありがとうございました。

地域・観光委員会

委員長 田口 祐太郎



地域・観光委員会では水郷祭例会と地域支援事業を
担当させて頂きました。

残念ながら今年も水郷祭が中止となってしまいまし
たが、『水郷祭例会』では「来年度以降にどうやったら
水郷祭が開催できるのか」、「今後どう水郷祭に関わっ
ていけるのか」をテーマにディスカッションを行い皆
さんと一緒に考えさせていただきました。

ディスカッションは沢山の貴重なご意見を頂くこと
ができました。

『地域支援事業』では小学生高学年を対象とした「お
しごと体験」を行います。この原稿を作成している時
点では、まだ企画途中ですが協力して良い事業になる
ようにしていきます。

最後に、私自身委員長経験が無くこの一年を通して
委員会のメンバーには大変苦勞をおかけしたと思いま
すが、頼りになるメンバーに支えられ、副会長には
YEG以外のことも教えていただき、そこまで言っ
てくれる青年部の仲間って本当に素晴らしいと感じ感謝
しかないです。

一年間ありがとうございました。

提言委員会

委員長 糸賀 悠平



令和三年度提言委員会委員長の糸賀です。

今年度の提言委員会は、子育て世代の方々により安
心して暮らせる松江を目指す「安心・安全なまちづく
り」、松江市民の郷土愛醸成を目的とした「まつえの
日」の制定に向けた活動」、島根大学とも連携し、実際
に人材不足に悩む地場企業の課題解決を模索した「人
材不足解消に向けた提言」、行政とYEGの交流を密に
することで、お互いの課題を相談しあえる関係性にな
ることを目指す「松江市行政との意見交換会」という
四つの活動を柱に活動を行いました。

私自身、令和二年度に初めて提言委員会に所属して
から、最初は「提言活動ってなんだろう?」というと
ころからスタートし、今年は委員長を仰せつかったも
の、委員会メンバーや諸先輩方に支えて頂きながら
活動を行った感謝に堪えない一年間でした。

松江がより良い街になるため、今年度の取り組みを
次年度にも繋げていきたいと思っています。一年間あり
がとうございました。

経営者開発委員会

委員長 河内 大輔



松江市役所との協働事業、松江市ふるさと納税魅力化プロジェクトを行いました。市役所からは若手職員七名に参加いただきましたが、協働事業は昨年度に引き続き二年目となります。新商品開発やプロモーションなどを実践し、そこで得た学びをYEG会員へフィードバックするものです。一年を通して活動を共にした市役所の皆さんとは、同年代ということもあり、切磋琢磨しながら良きパートナーとして楽しく活動をさせていただき、またたくさんの失敗と成功から多くのことを学ばせていただきました。YEGとして、松江市役所と連携しながらの事業は他にも多くありますが、このプロジェクトを通して得たネットワークや絆が今後も続いていくことを願っています。行き当たりばったりで無茶振りばかりの委員長だったと思いますが、懐の深い理事と優秀なメンバーに支えられ実りある一年となりました。控えめに言っても大成功！関わっていたいただいた皆さま、ありがとうございました。

会員交流委員会

委員長 神庭 明広



令和三年度会員交流委員会委員長の神庭明広です。年度当初は初めての委員長ということもあり、やり遂げられるのか不安ばかりが募っておりました。村上副会長を始め、ベテランの小藤副委員長、仙田副委員長、初めての理事経験者である石本副委員長、そして会員交流委員の皆様、新入会員の方々に支えられ、今日現在でほとんどの事業を終えることができました。納涼例会・会員交流事業・忘年会といった、コロナ禍での非常に難しい事業を、「どうやったらできるのか」と委員会共通のテーマとして挙げてきましたが、委員会で様々な意見を出し合い、また会員のご協力もあつて事業を成功させることができました。Withコロナの時代を迎え、生活様式ががらりと変わり、事業においても以前と同じようなやり方が出来なくなってしまうましたが、この一年を通じて自身も松江YEGとしても大きな経験になったと思います。今年度も残りわずかとなってしまいましたが、本当にありがとうございました。



令和3年度新入会員の紹介

ご入会おめでとうございます



犬山 達也
（株）吉谷

昨年の四月に入会させて頂きました犬山です。入会してからは、会員交流委員会に席をおき、楽しく色々な活動に取り組んで参りました。

来年度もたくさんの方の事業がありますので、積極的に参加させて頂きたくさんの方と一緒にたくさんの方のシナジーを出していければと思っております。皆様、今後ともよろしくお願い致します。



田中 友梨
うまえもん

「ゆり、次YEG入ってな」弊社、島山のこの一言で私のYEG活動が始まりました。

最初は不安に思っていました。実際に入ってみると楽しい方、ちよつと変わった方がいっぱい入会しており安心しました。

コロナ禍で数少ない活動の中、三瓶登山をしたのが一番思い出です。

私の使命はYEGを通し人脈を広げて、うまえもんのお弁当や料理をより多くの方に知ってもらえる事らしいです。

これからもYEG活動を頑張りながらちよくちよく宣伝していきたいと思えます。



河津 康一
（株）ルートクリエイト

令和三年四月に入会させて頂きました。（株）ルートクリエイトの河津と申します。

私にも松江のために何か出来ることがあるのでは無いか?と思入会させて頂きました。来年度もコロナウィルスの影響を受けながらの活動となること予想されますが、YEGの活動を通して、たくさんの方々と出合い交流できる事を楽しみにしています。



田村 透
（株）パリティクラブ

令和三年七月に入会いたしました田村です。

新型コロナウイルスによって活動方法がガラッと変化し、皆様と直接お会いできる機会も減ってしまいました。

しかし、オンラインツールなどを通して交流することで、皆様の思いなどを聞くことができ、嬉しく思っております。

次年度も積極的に参加し、皆様と交流を深めながら自身の成長にも繋げていきます。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



黒川 稔
（株）山陰合同銀行



勝部 拳成
（有）ちどり工房



大西 幸一
企業警備保障（株）



宇野 鉄郎
西日本電信電話（株）
島根支店



植野 裕之
（株）さんびる



森山 亜弥
（株）MDK
地産地相酒場たかの屋



藤原 鉄也
島根電工（株）



廣田 良平
（株）オレンジロード



長谷 和樹
山陰中央テレビジョン放送（株）



田中 真一
ALSOK 山陰（株）



野津 純一
AAO（株）

ご卒業おめでとうございます



有田 雅之
株島根東亜建物管理

平成二十五年三月に入会して九年間、まず思うのは「YEG 楽しかった」という気持ちです。当社社の上司に勧められた時は「飲み会とか多くてプライベートの時間が削られそう」とマイナスなイメージでしたが、いざ入ってみると確かに飲み会多かった(笑)けど、そこでみんな仲間として受け入れてくれて一気に距離が縮まりました。

そしてみんなオンオフの切替がすごい。委員会の時はあんなに真面目なことを話しているのに懇親会では・・・(笑)。初年度は訳も分からない内に忘年会の司会、余興のダンス練習。大変でしたがとても楽しいYEGのスタートが切れました。

二年目の経営者開発委員会では先輩方と色々話していく中で「せっかくYEGとして活動していくなら理事をやってみよう」と思うようになり、三年目の観光開発委員会で副委員長を務めさせて頂きました。その頃からより楽しく活動することができ、翌年の経営戦略委員会では委員長を受けていました。思い返しても委員長の時が一番充実しており、理事会では何度も炎上を経験しましたが、その過程で仕事の進め方など現在でも参考になっている部分が多くあります。納涼例会や先進地視察など大変でしたがとても楽しく貴重な経験となりました。また、副会長も何度か経験させて頂き水郷祭や提言活動を通して委員会メンバーとYEG活動を楽しめたいと思います。

そして何と言ってもYEG活動を通して一番の収穫は多くの友達ができただけです。「YEGは卒業しますがここで得た友達との付き合いには卒業はありません。」九年間で多くの人と関わったことは私の一生の財産となります。皆さんありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



稲葉 崇文
株金見工務店

平成三十一年一月に松江YEGに入会することを決意。商工会議所活動の一翼を担うこの組織の存在を含め、地域活動などの様々な話をYEG卒業生である会社の上司や、同業者の方からたくさん聞き、そして勧められました。

また、以前から漠然ではありましたが、何か地域に根差した活動がしたいという思いを持っていたことも重なり、自然と気持ちが入会へと動きました。

そして、二月例会での新入会員スピーチでは、「地域発展のために創意工夫して活動をしていく」とその思いを話したのが記憶に残っています。

一年目からフルスロットルで、多くのイベントや地域活動に参加したり、釣り部に入会したりして会員を含めた様々な方との交流を深めました。

二三年目は一転コロナ禍において思うように広く活動は出来ませんでした。そんな初めての困難な状況下でも皆で工夫して考えた事業活動、とても貴重な時間だったと思っています。

そんなYEG活動は約三年という短いながらも、多くの学びをいただきました。

それは、個人では到達出来ない目標でも、多様な集団で連携して向かえば成すことが出来るということ。多様な人との関係を築いて見識を広め、努力することがいかに大切かということでした。

この松江YEGで得た経験や仲間との出会い、簡単なことではありませんが、初心を忘れず、そしてこの学びは変わることなく今後の人生でも大切にしていこうと思っています。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった全ての方々、三年間一緒に活動をさせていただいた方々に、心より御礼と感謝申し上げます。併せて皆様方の今後のご活躍と松江YEGの益々のご発展をご祈念申し上げます。本当にありがとうございます。



井上 鉄平
株松尾豊店

私は平成二十二年十月に入会し、約十三年の活動をさせて頂きました。松江でご活躍されている多くの方々に出会えることができ、また、初めて経験する事や時には失敗、時には刺激を頂くことが出来て、大変感謝しております。大変、実りの多い十三年間でした。

この十三年間を振り返ってみると、入会当時、幼かった子供達が今や高校生や中学生に成長し、入会四年目には子供が一人増え、家族が増えたりもしました。また、仕事面におきましては、平成二十六年に父から引き継いだ事業を法人化し、株式会社松尾という会社を立ち上げさせて頂いたり、令和二年に新たに合同会社イノウエという会社も立ち上げさせて頂いたり公私共に充実した十三年間を過ごさせて頂きました。

元々、独断専行的に物事を進めてきた私にとってこの松江YEGでの経験は大変貴重で、色々な職種の方、経営者の方、経験をお持ちの方々の方々の意見を聞いて物事を進めていく重要性だったり、また時には自分の意思を信じて物事を進めていく推進力の重要性だったり、自分を見直す良い機会を頂いたように感じます。YEGで経験させて頂いたどの事業も私自身、弊社ともに大変勉強になりました。ありがとうございます。

十三年間、所属させて頂くと思っても多くあります。三十五・四十周年の周年事業、緊張感のある例会、初めて経験した委員長、緊張した理事会、大変だったけど思い出がいっぱいの「まつえランド」個人的にYEG活動の分岐点になった二十六年度観光開発委員会、楽しかった水郷祭、おどん販売、提言活動、官民合同委員会、ZOOMでの会議、野球したり麻雀したり卓球したり運動会したり・・・まだまだ数え上げるとキリがないくらい本当に多くのかけがえのない経験をさせて頂きました。多くの方と過ごすことが出来たこの十三年間は私にとって大きな財産になったことは間違いありません。YEGは卒業になりますが、松江での商売はこれから続きます。街でお会いすることもあると思いますので、その時はまた楽しくお話ししましょうね。本当にありがとうございます。

終わりに皆様のご活躍を祈念いたしますとともに、今後も変わらぬお付き合いの程をよろしくお願い致します。



川中 実
(株)ソルクス

松江 YEG 入会は平成二十年二月でした。それ以来十余年、ずっと在籍させて頂きました。この街で仕事をしていると何かにつけて YEG 会員の方、YEG の諸先輩、そして商工会議所の職員の方々に行き当たります。それがこの団体を途中で退かなかった大きな理由だと思います。また YEG に所属している者同士の相手を受け入れる慣習は、所属している最中一切変わることがありませんでした。ともすると人との関係性を築くのが困難な時代に大変ありがたく、素晴らしい文化だと思っています。

松江 YEG の更なる活躍を楽しみにしております。今までお世話になり、本当にありがとうございます。ありがとうございました。



長岡 望
(株)長岡塗装店

あつと言う間でしたが、充実した九年半の青年部活動でした。活動期間を通して理事を多く経験し、失敗も成功も経験する中で多くの学びと仲間を得ました。特に松江 YEG 設立四十周年では実行委員長、また令和二年度は会長をさせて頂き、仲間に助けられながら、その時にできることを精一杯実行しました。ただ、会長年度は新型コロナの影響で、各委員会には思い描いていた事業活動してもらえなかったことが心残りです。早く収束し、制約なく事業活動ができるようになることを願っています。

自身の経験から皆さんにお伝えしたいことがあります。コロナ禍が収束した暁には、委員会や理事会後の懇親会へ参加し、酒を酌み交わしながら事業内容について話し合ってください。酔った勢いで出たバカ話から突拍子も無いアイデアが生まれることがあります。そのアイデアを実現することで事業内容がより楽しく、やりがいがあるものに進化することを何度も経験し、その度に委員会メンバーとの絆が深まりました。是非皆さんにも体験していただきたいです。

卒業しますが、今後も松江 YEG の活躍を OB として見守り、松江市が元気な街になるよう、協力させていただきます。

お世話になりました先輩方、会員の皆さん、会議所職員の皆さん、地域の皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。



成瀬 義広
東洋ソーラー(株)

平成三十年四月に入会し、四年間という短い間ではありましたが、皆様には大変お世話になりました。入会当初は何をしてよいのかもわからず、ただ参加していただけではありませんでしたが、学生時代の友人など知人も入会していたこともあり、楽しく活動を行うことができました。

また、通常であればお会いすることのない様々な業種の方々との交流は、普段では経験することのできない貴重な機会となりました。

ただ、新型コロナウイルスの影響もあり、思うように参加ができなくなる中、試行錯誤して活動を続けておられる皆様に協力することができず、このような形で活動を終えることとなり、大変申し訳なく感じております。

未だ新型コロナウイルスの影響が続く中ではありますが、今後も松江 YEG の益々のご発展と、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

ご卒業おめでとうございます



丸山 創
島根丸山法律事務所

平成二十二年に入会して以降、様々な委員会に所属させてもらいました。初期は観光開発、中盤は人材育成、未来ヴィジョン、総務（広報）、後半は政策提言という具合です。どの時期も楽しく、会員の皆様からは、委員会活動や理事会等では、一つの問題に対して取り組む姿勢や考え方を見聞きすることで、年齢問わずに刺激を受けました。これらの機会でご一緒できなかった方とも、行事などで交流させてもらいました。

商工会議所が意見を公表してこれを行政庁等に具申する事業を行う組織であることを学んだのは、恥ずかしながら、後半「まつえの日」制定に関して提言書の作成に携わった時でした。松江YEGで、政策提言活動が本格的に行われるようになったのは比較的近時のことですが、今後益々積極的に政策提言活動を行って頂ければと思います。

松江YEGとしての活動に区切りをつけるに当たり、会員、事務局の皆様には大変お世話になりましたことに、改めてお礼を申し上げます。そして、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



森脇 慎一
一畑工業(株)

平成二十六年三月に入会をし、約八年間大変お世話になりました。

入会をして初めて参加したのが卒業式で、私で務まるのかと不安に思ったのを覚えていています。入会当時、何もわからない私に丁寧に説明をしてもらい、「締めるところは締め、楽しむときは思いっきり楽しむ」事を教えていただきました。社内部署変更により建築部となり、業務の都合であまり活動に参加できなくなってしまい当時委員会の皆様には迷惑をかけたかと反省しております。

ただ、数少ない活動の中でも一生付き合っていける仲間、友人に出会えた事は何にも代えがたい財産だと思っております。

会員育成↓Mプロジェクト↓地域観光↓政策提言↓提言↓会員交流といろいろな委員会に所属し、普段の業務では出会わないであろうたくさんの仲間ができました。

そのYEG活動において印象に残っている事と言えば、テントブースの担当副委員長として参加した水郷祭です。

初理事としての初委員会、うまく物事が伝えられず懇親会でも落ち込んでいたところ、誰もが帰る中、某先輩はそれを知ってか知らずか、「次の店行くぞ」とだけ言い、ただ黙って最後まで飲み付き合ってくれ、とても嬉しかった事を覚えていています。そんな先輩には迷惑はかけられないと業務の間を縫って食品・備品の手配をし、やっと終わったと安心していたところ器の手配・確認漏れがあり、なんとか当日午前中にギリギリ間に合ってた良かったものの、当時の委員長と一瞬冷や汗が出たのも今となってはいい思い出です。

思い出深い水郷祭も令和二年度、最終年度の令和三年度共に、中止となり非常に寂しい気持ちですが、今後復活した際には必ず顔を出そうと思います。

松江YEGの活動は、青年経済人として今後身に付けなければならぬ事の練習ができる場所です。その経験を自社に持ち帰り、活かしていけるよう多くの活動に参加し、たくさんの仲間・友人を作ってください。

それが自社での業務に対する考え方の幅の広がりとなって後々の自分の助けになるはずですよ。

最後になりますが、良い友人・仲間に関われ充実したYEG活動を送る事ができました。本当にありがとうございました。



渡部 弘
㈱マサコーポレーション

平成二十四年の入会以来、十年にわたり青年部でお世話になりました。活動を振り返ると松江おどん、まつえランド、水燈路など楽しかった記憶が昨日のこのように蘇ります。

この数年は観光委員会に所属していたこともあり地域ブランド事業や水郷祭には長く携わらせて頂きました。良かったことも失敗したことも今ではとても良い思い出です。

毎年卒業してゆく先輩方が「入ってよかった」と言葉を残されていますが、活動を真剣に取り組むことで絆が生まれ、事業を通じ研鑽を積むことができると感じています。

「理事」という職責を通じ成長の機会をくれた先輩や仲間、委員長・副委員長を引き受けてくれた仲間、そして委員会に関わってくださった皆さん。事業に臨む姿勢や言動に刺激を受けた皆さんのことを学ばせてもらいました。青年部の経験は今後も私の財産となつてずっと生きていきます。

そしてもう一つ、卒業しても楽しく語りお酒を飲める仲間ができたこと。私にとってこれが何よりの財産であり、続けてきたご褒美なのかもしれません。社業と青年部の両立は大変な面もありましたが、職場の理解と支えなくしては続けることができませんでした。改めて感謝申し上げます。十年もいると卒業は名残り惜しいですがまたお酒の席でご活躍を伺える日を楽しみにしています。

最後になりますが青年部の皆様のご健勝と松江商工会議所青年部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。ほんとうに長い間お世話になりました。ありがとうございました。

令和3年度 活動報告

一年間の行事と活動の様子を写真で一部紹介するコーナーです。

◀4月 定時総会



◀4月 卒業証書授与式



◀7月 納涼例会



◀9月 水郷祭例会 ～新たな水郷祭に 向かって～



◀10月 会員交流事業 ～いちに、さん瓶山！ 山に登って絆を 深めよう！～



◀10月 例会

～ふるさと納税で
まなを、企業を
元気に～



◀12月 提言委員会勉強会



◀12月 定時総会

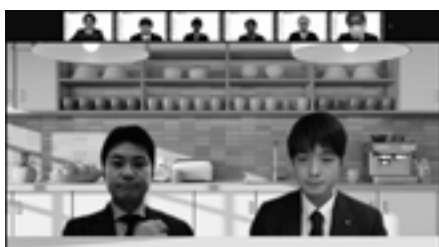


◀12月 オンライン忘年会



◀2月 例会

～ふるさと納税プロシエント
を通して多くのことを
学びました～



■事務局だより

四月の総会において事務局交代の挨拶をさせていただいてからの一年、あつという間に過ぎたということが正直な感想です。新型コロナウイルス感染症の拡大により、担当になって以降一度もお会いすることが叶っていない方がいる・参加できていない事業があるなど、歴代の事務局担当と比較すると青年部の皆様との交流や経験が希薄となった年度であったことは非常に残念に思います。しかしながら、会としての活動に多くの制限を強いられた昨年度を経て大内会長を中心に、原点と変化へ変えないものと変えるものとのスローガンの通り、政策提言やふるさと納税、Viceでのオンライン忘年会など、新しい取り組み・変化に皆様と一緒に携わらせて頂いたことは私にとって大変貴重な経験となりました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。私自身、事務局としてまた商工会議所の職員として精一杯励みますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

松江商工会議所 経営支援課 竹谷幸祐

詳しくは松江YEGの
ホームページで
ご覧ください



RE・START

「気持ち新たに前へ進もう！」

令和四年度会長 秋鹿 司



まず初めに、我々松江YEGは令和四年度に設立四十五周年を迎えます。これも長きに渡りご支援頂いた地域の皆様、卒業されました諸先輩方のお陰と感謝申し上げます。

令和四年度スローガンは、「RE・START」気持ち新たに「前へ進もう！」を掲げました。松江市に限らず多くの地方都市において、少子高齢化や人口減少など課題が山積しています。コロナ禍で活動が制限されたことで、地域や会員同士の関係はあきらかに希薄になりました。活動の目的である綱領・指針に沿った事業が十分に出来ていないのが現状です。

しかしながら、コロナ禍で培った創意工夫は必ずや今後活かすことのできる経験です。五十周年へ向け、あらためて「地域の繋がり」「会員の繋がり」を創ることができるよう、気持ち新たに前へ進む「RE・START」を切ろう」という想いを込めたスローガンです。

さらに令和四年度は、島根県連会長・日本YEG出向者を松江YEGから輩出します。松江が先頭に立ち、島根県を引っ張っていきけるよう頑張る所存です。

令和四年度も難しい状況下での活動となりますが、「地域の繋がり」「会員の繋がり」を再度創りあげ、全会員一致団結し、五十周年へ向け気持ち新たに青年部活動に邁進して参りますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

藤井 浩太郎



令和四年度島根県商工会議所青年部連合会 会長予定者 藤井浩太郎です。

松江YEG四十五周年を迎える年度に県連会長職を拜命する事は光栄なことでありますが、同時にその責務の重さを強く感じます。精一杯努力していく所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。島根県がひとつとなりメンバー皆で挑戦しよう！それぞれのステージで各自が一步でも前進できるような挑戦をする事が全体の糧となり、力強いチームへの第一歩だと考えます。希望溢れる未来へと続く新たな物語を共に創り上げて参りましょう！

一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



堰 大輔

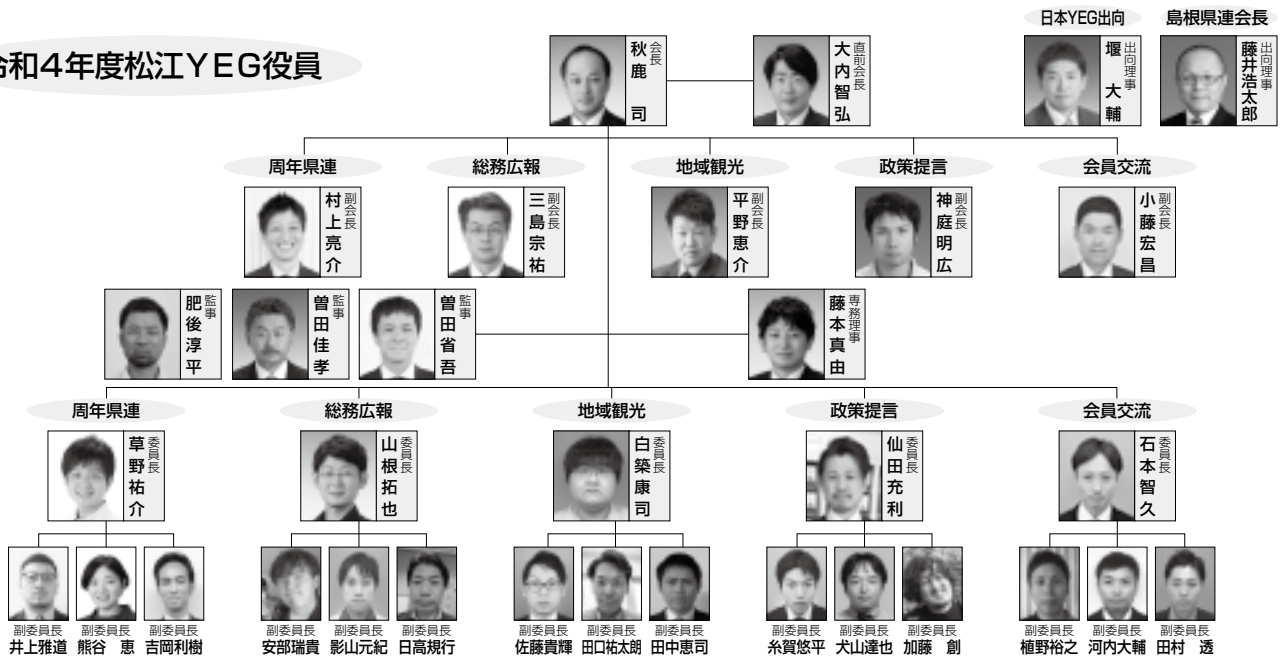
令和四年度日本YEG島根県代表理事

令和四年度は、日本YEG島根県代表理事として出向させていただきました。また、中国ブロック理事（委員会担当理事）・島根県連理事も兼任することになります。

専門委員として出向していた過去二年とは違い、大きな役割をお預かりして身が引き締まる思いですが、島根県の代表としてこれまで以上に励んでいきます。

八年に一度の貴重な機会を、こうたろうさん（藤井県連会長）と共に盛り上げて参ります！みなさん一緒に楽しんでいきましょう！！

令和4年度松江YEG役員



こんな会です 松江商工会議所青年部

松江YEG

<https://www.m-yeg.com>

入って良かったネ! って言われます。一緒に青年部活動をしてみませんか?

我々、松江商工会議所青年部は、松江市で商売を営む45歳までの商工業青年経済人の集まりです。目的は、松江市の健全な地域発展のため、様々な事業を通して豊かで住みよい郷土づくりに貢献することです。そして、この目的のもと、多彩な活動を行うことが、松江市民からの信頼を得て、青年部会員各社の発展につながると確信しています。松江市において商売をする“あなた”、是非とも入会し、自己研鑽、情報収集そして幅広い人脈を得るため、我々と一緒に青年部活動をしてみませんか。

青年部会員一同



経営強化、ニュービジネスの発展・展開

Creative

多様化するビジネスの波を乗り切る!

地域経済を支える様々な方の講演会を始め、委員会独自の勉強会など松江商工会議所青年部ならではの企画で、ビジネスチャンスを見逃さずキャッチすることが出来ます。



Community

愛すべき私たちの街、松江!

毎年夏に開催される水都松江の一大イベント「水郷祭」に参加協力、みんなで力を合わせ、汗を流し、地域のお祭りに貢献しています。又、それぞれの委員会活動を通して、地域経済の発展を考えています。

Communication

同じ街に生きる同世代の仲間づくり

スポーツあり、各種レクリエーション企画を通じて、会員相互のコミュニケーションを深め、より楽しい青年部活動を目指しています。

生き活きた地域づくり

ヒューマンネットワークづくり

5 委員会構成されています

周年県連(委)

総務広報(委)

地域観光(委)

政策提言(委)

会員交流(委)

Q&A 青年部って どんなところ?

Q 青年部の目的は何ですか?

A. 各種講演会・勉強会を通じて青年経済人としての人格、教養および経営能力を高め企業の発展をはかると共に、商工会議所活動への寄与および、地域づくりに貢献していくことを目的としています。

Q 入会資格はどうなっていますか?

A. 松江商工会議所の会員企業で45歳までの方なら、男女問わずどなたでも入会できます。地場産業の社長、後継者の方をはじめ、会社員の方、また転勤族の方も入会しています。

Q 会費はいくらですか?

A. 会費は年間48,000円です。会費は当会の運営・活動費に充てられます。

Q どうやって入会するのですか?

A. 所定の入会申込書に記入していただき、現会員1名の推薦があれば入会できます。詳しくは、事務局にお問い合わせ下さい。

Q 会合は月どのくらいあるのですか?

A. 全会員を対象とした例会等隔月1回程度開催されます。又各委員会が月に1~2回程度行われています。

Q 会員は何人いますか?

A. 現在100名(令和4年2月1日現在)です。

Q 組織運営はどうなっているのですか?

A. 委員会で討議された事業計画が理事会の承認のもと円滑に遂行されます。理事会は、会長・直前会長・副会長・専務理事・委員長・副委員長・監事によって構成され、月1回開催されます。そして全会員出席による最高決議機関である総会が年に2回開催されます。

Q 入会はどこに申し込みればよいのですか?

A. 松江商工会議所の3階に事務局がありますので、こちらへ申し込んでください。また、お知り合いの方々の中に、すでに会員の方があればその方に申し込んでいただいても構いません。年度途中でも入会できます。